

すべてのステークホルダーとの責任ある対話

オムロンは「経営のスタンス」の中で、「すべてのステークホルダーと責任ある対話を行い、強固な信頼関係を構築します」と宣言しています。ステークホルダーとの対話を通じた信頼関係は、オムロンの持続的な成長にとって欠かせない資産であり、ソーシャルニーズの創造をしていくために不可欠な要素です。私たちは、すべてのステークホルダーとの責任ある対話に取り組み、持続的な企業価値の向上と、事業を通じた社会的課題の解決に取り組んでいます。

ステークホルダー	主な取り組み	コミュニケーション手段	活動実績例
お客様	オムロングループは、事業を通じた社会的課題の解決を目指し、より良い商品・サービスを提供しています。	営業活動を通じたコミュニケーション	制御機器事業のオートメーションセンタ(ATC)37拠点をつうじたお客様との共創。 2021年度実績: ・エンジニア1,600名体制を構築(2017年度比45%増)。 ・ATC草津をリニューアル(2022年1月)
		カスタマーサポート	制御機器事業:世界40か国150拠点以上のサポートネットワークにより、お客様のグローバル競争力向上に貢献。 ヘルスケア事業:コロナ禍に伴い、体温計・血圧計の問い合わせや、webサイトの「よくあるご質問」へのアクセスが倍増。webサイトの導線や、回答内容の改善に注力し、お客様満足の向上に貢献。
		ユーザーモニタリング	ヘルスケア事業にて、モニタリング用住居環境スペースを設置し、モニタリング結果を喘鳴センサの開発に活用。
		展示会	「中国国際輸入博覧会2021(CIIE)」出展をつうじたオムロンブランドの認知拡大。「オートメーションで社会的課題を解決するイノベーション企業」としてのメッセージを発信。
取引先	オムロングループは、グローバルに調達活動を行っており、仕入先様と共にサプライチェーン上のサステナビリティのレベルアップに取り組んでいます。	購買方針説明会 (グローバルパートナーカンファレンス)	主要仕入先様に対し、オムロンの経営方針・サステナブル調達の方針を共有。2021年度は約20社に対し、1on1のオンラインミーティングを実施。
		サステナビリティセルフチェック	仕入先様自身によるサステナブル調達ガイドラインのセルフチェックの実施。2021年度は、グローバルの仕入先様603社の遵守状況を確認。
		第三者基準での評価	RBA*の評価ツールを用いた自主チェック実施。サステナビリティリスクを特定した仕入先様50社に対する是正行動の実施。 *RBA: Responsible Business Alliance(責任ある企業同盟)
		環境負荷低減に寄与する 「グリーン調達」	グリーン認定・更新の実施。 2021年度はさらに100社を認定し、累計3,126社が評価完了。 有害化学物質を含まない材料を積極的に採用し、サプライチェーン上の環境負荷低減に寄与。
		紛争鉱物調査	業界標準規格(RMI)の紛争鉱物調査帳票(CMRT)を採用し、2021年度は、オムロングループが過去2年間に購入した部材を対象にグローバルの仕入先様286社の調査を実施。環境破壊・人権侵害に及ぼさない調達を推進。
社員	オムロングループは、社員の能力や情熱を解き放ち、思う存分に発揮できる企業づくりに取り組んでいます。	VOICE (グローバル社員エンゲージメント調査)	2020年度は、オムロングループ全社員28,006人に対し調査実施。(調査は2年ごとに実施) 回答率90%/フリーコメント数40,000件超
		社長との直接対話の場 「The KURUMAZA」	企業理念をオムロン発展の原動力にすることを目的とした社員と社長の直接対話を実施。
		会長との直接対話の場 「企業理念ミッションナリーダイアログ」	企業理念の実践を組織に根付かせるための経営幹部との直接対話を実施。2021年度は4つの海外エリアで実施。リーダー層や若手社員を中心に累計で約100名が参加。
		TOGAグローバル大会 (The OMRON Global Awards)	ゴールド賞に輝いたチームが京都本社に集い企業理念実践のチャレンジを役員、社員に対して共有し称賛を受けるイベント。 2021年度は、リアルとオンラインのハイブリッド開催。社内外12,000人が参加し企業理念実践に対する共感・共鳴の輪を拡大。
		健康経営宣言 「Boost5プロジェクト」	社員の健康を重要な経営基盤として捉え、健康状態の見える化・分析に基づいた「オムロン健康白書」を発行。
株主・投資家	オムロングループは、「透明性の高い経営の実現」を目指し、株主・投資家との双方向コミュニケーションに努めています。	決算説明会/中期経営計画説明会/ 個別面談	決算説明会(4回)、SF2030・中期経営計画説明会、機関投資家との面談(700件以上)をオンラインなどで開催。従来同様の透明性の高いIR活動を実現。
		定時株主総会	オンライン配信を実施(2021年6月24日)。会場への来場者56名、ライブ配信視聴120名(株主に限定)。議決権行使率は過去最高の89.1%。
		IR関連冊子の発行	統合レポート、株主通信などIR冊子の発行による積極的な情報開示を実施。さらに有価証券報告書の記載充実(価値創造ストーリー、サステナビリティ目標・結果、リスク情報などを記載)も実施し、幅広い投資家層への情報開示を強化。
		IRサイト・サステナビリティサイトの 企画・運営	決算関連資料(決算短信・プレゼンテーション資料・財務データ集など)のタイムリーな情報開示。非財務情報の充実。